

第6回 杉並区立西宮中学校・宮前図書館改築検討懇談会会議録

会 議 名	第6回杉並区立西宮中学校・宮前図書館改築検討懇談会
日 時	令和5年3月23日（木）午前10時00分～午後11時48分
場 所	西宮中学校 2階多目的室
出 席 者	懇談会委員22名（欠席8名）
傍 聴 者	4名
次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 前回の主な意見等について 2 改築規模について 3 複合化等について 4 配置計画スタディについて
資 料	資料1 第5回懇談会の主な意見等について 資料2 西宮中の改築規模について 資料3 複合化パターンについて 補足資料1 施設の複合化の効果について 補足資料2 保育園の現地改築について 補足資料3 概算コスト比較について 資料4 配置計画スタディ

進行役	<p>皆さん、こんにちは。まだおそろいでない方もいらっしゃるようですが、お時間となりましたので、ただいまから第6回杉並区立西宮中学校・宮前図書館改築検討懇談会を開催したいと思います。</p> <p>司会は今までどおり、本校校長の宮崎が行わせていただきます。よろしくお願いいたします。</p> <p>まずは本日、お忙しい中、懇談会にご出席いただきましてありがとうございます。本日も2時間程度、正午ぐらいまでを目途として予定しておりますので、進行についてはご協力のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>本日は数名の方から欠席との連絡を受けております。</p> <p>また、本懇談会を傍聴したいとご希望される方がいらっしゃる場合は基本的に認めることとなっております。なお、傍聴の方は発言できませんので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。</p>
-----	---

	<p>それでは、配付資料の確認等を事務局からお願いいたします。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>(配布資料の確認)</p>
進行役	<p>よろしいでしょうか。資料の不足とかないですか。大丈夫ですか。</p> <p>続きまして、次第に入る前に、今もお話にありましたとおり、今回初めてご出席される委員の方がいらっしゃいますので、一言自己紹介を頂きたいと思います。</p> <p><委員自己紹介></p>
進行役	<p>どうもありがとうございました。</p> <p>それでは次第に従いまして、進めさせていただきます。</p> <p>次第1「第5回懇談会の主な意見等」について、事務局よりご説明をお願いいたします。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>資料1の「第5回懇談会の主な意見等」をお開きください。前回の議題としては、大きく「改築規模について」というところがございました。こちらのほうは、今後35人学級あるいは30人学級等を見据えて、学級規模をしっかり推計してほしいという意見をいろいろ頂いたところでございます。</p> <p>次第の大きな2点目といたしまして、「複合化パターン・配置計画について」につきましては、様々ご意見ありましたが、代表的な意見で申し上げますと、校庭が広く取れる、あるいはコスト面なども考えると、パターン③がいいのではないかとというのが学校の関係者の方のご意見や、それからパターン②、これは学校と集会施設との複合化ですが、そういったところは地域人材との交流などもできるので、パターン①よりはより積極的に捉えられるのではないかとのご意見などをいろいろ頂いたところで、さらに議論を深めていきたいというご意見だったかと思えます。</p> <p>簡単ですが、次第の資料1については以上です。</p>
進行役	<p>これについて、何かございますでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>では、進めさせていただきます。</p> <p>続いて次第2「改築規模について」、次第3「複合化等について」、次第4「配置計画スタディ」について、一括して事務局よりご説明をお願いいたします。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>それでは資料2を御覧ください。「西宮中の改築規模について」ということで、前回、大ぐくりな面積、規模についてはお示したところですが、より詳細なものが必要ではないかというご意見もございましたの</p>

で、今回それを表にしてお示ししてございます。

これは、前回もご説明したところですが、中学校の改築については、学級規模に応じて標準的な諸室面積というものを定めておりますので、ここにお示ししたものはその標準的な規模ということになります。

今後、設計において、より具体的に配置等を決める中でやりくりというところはございますが、これをベースに今後学校の設計については進めていくということでございます。

幾つか現在の校舎との比較ということでコメントさせていただきます。

減っている部分で申し上げますと、例えばコンピュータ室、近年コンピュータ室としての使い方はされていないのかなと思いますが、現在タブレットの導入等もございますので、コンピュータ室というのは造ることはないという部分が減っていたり、あとは技術の関係、金工・木工室というのが分かれています。今、共用の技術室ということで1室にしたり、古い学校ですと家庭科の被服・調理に今分かれている学校が多いのですが、こちらも家庭科室というところで、一回り大きい部屋で兼用するという形になっておりますので、その辺りは少し面積が小さくなっている部分がございます。

対して、大きくなっている部分をご紹介しますと、例えば図書館、西宮中の図書館は少し狭く、106㎡ぐらいと思いますが、中学校の学校図書館としての標準は大体180㎡ぐらいですので、かなり大きくなるというところですか、音楽室については器具等もたくさんありますので、今、準備室で29㎡程度と思いますが、器具庫等を設けるとというのが標準的な考え方にはなっております。

また多目的室は、懇談会をやっているこの部屋が普通教室2教室分ぐらいの部屋なのかなと思いますが、標準的には普通教室3教室分ぐらいの多目的室を造る計画ではございますので、その辺りも80㎡ぐらいは広がっています。

職員室等についても、休憩室スペース等、今、労基法等で設けることになっておりますので、60、70㎡広くなったりですとか、あとトイレについても現在バリアフリーの誰でもトイレ等の整備が必要になりますので、面積的には200から300㎡ぐらい増えたりですとか、エレベーターをつけたりというところで広がっている部分はございます。

それから給食室関係も今、アレルギーの対応ですとか、衛生面で配膳室等を設けるというところもありますので、100㎡程度大きくなったり

というところで、現在、西宮中の校舎面積 5,900 m²ぐらいのところを全体としては 1,400 m²以上広く整備はすることになるというところは前回もご説明したとおりでございます。

続きまして、資料 3 をお開きいただきたいと思います。「複合化パターンについて」ということで、前回お配りした資料と基本的には変えてございませんが、今回初めての方もいらっしゃるので簡単に振り返りをすると、宮前地区全体を俯瞰したときに、施設再編上の課題が幾つかあると。この西宮中が築 61 年。また、井の頭通りの北側の大宮前保育園、ゆうゆう館が併設されておりますが、こちらが築 57 年ということで、改築時期を迎えている。宮前図書館も築 50 年ということで、改築が 60 年と考えるとまだ少し余裕がありますが、改築も検討すべき時期になっている。

それから、この地域、集会施設の整備が前々から課題とされているところでもあり、大宮前保育園の建て替えに関しては、原則、休園期間を設けるのが難しいところもありますので、それをどうやって建て替えていくかというところなどを考えたときに、主にこの下の 3 パターンのやり方があるのではないかとということでお示しさせていただいたものです。

パターン①は現在の原案であった西宮中と宮前図書館をこの中学校の敷地で建て替える。そして、図書館の跡地が空きますので、そちらのほうで保育園の建て替えの仮設園舎を造ったり、集会施設として将来的には整備をすることができるのではないかと。

パターン②は西宮中と集会施設を複合化して、図書館については現位置での建て替えを考えている。

パターン③は西宮中を単独改築として、宮前図書館の敷地で集会施設との複合化といったところを検討していくということで、パターン②やパターン③は、保育園の建て替えについて課題は残るものの、こういったやり方があるのではないかとということでお示しさせていただきました。

裏面の比較表、これも前回と変えておりませんので、詳しい説明は行いませんが、前回、複合化の効果としてパターン②やパターン③についてもさらに深掘りすべきというご意見もございましたので、その辺りを補足資料 1 でさらに今日、議論を深めていきたいと考えております。

また、図書館の建て替えについて、現位置で建て替えができないのかどうなのかというところも説明が必要ではないかというご指摘がござ

	<p>いましたので、その辺りを補足資料2で、それからコスト面についても高い・低い・中間という形でお示ししておりましたが、もう少し具体的なシミュレーションをしてまいりましたので、補足資料3で本日ご説明させていただいて、さらに議論を深めていければと考えてございます。</p> <p>補足資料1と2については、企画課の施設マネジメント担当からご説明させていただきます。</p>
<p>企画課施設マネジメント担当課長</p>	<p>施設マネジメント担当課長の最上と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>今、説明にもありましたとおり、私から補足資料1と補足資料2についてご説明させていただきます。</p> <p>まず、補足資料1でございます。A4判横でホチキス留めの資料をお手元にご用意いただければと思います。</p> <p>こちらは「施設の複合化の効果」ということで、今回、複合化が1つのポイントになるというところで、深掘りをしていくための参考資料でございます。</p> <p>1ページ目には「学校と他施設が複合化した場合の効果」ということで、これは図書館に限らず、様々な複合化の事例が全国でも行われているところがございます。</p> <p>そういった中で、一般的にいわれる学校と他の施設が複合化した場合の効果はこういったことが言われているというところを5点記載しておりまして、この内容については文科省の報告書から抜粋させていただいております。</p> <p>簡単にご紹介させていただきますと、1つ目が「施設機能の共有化による学習環境の高機能化・多機能化」ということで、複合化によりまして単独の学校として整備するよりも他の施設の機能が加わることによって機能が高まる、多くなる。そういったことによって児童生徒あるいは地域の皆様の多様な学習環境をつくり出すことができるのではないかと。そういった施設の有効活用という点が1つ目でございます。</p> <p>2点目は「児童生徒と施設利用者との交流」ということで、これはどの施設が複合化されるのかにもよりますが、複合化されているという特徴を生かしまして、交流の機会を設けたり、日常的に互いの施設の活動を目の当たりにすることによって、児童生徒と地域の皆さんとの交流を深めることができるのではないかとという点。</p> <p>3点目は「地域における生涯学習やコミュニティの拠点の形成」というところですが、例えば学校と社会教育施設、図書館なども含まれますが、</p>

そうした複合施設においては子どもたちの学びの場としてだけではなく、地域の皆様にとっても生涯学習の場にもなる。あるいは、行事なども通じてコミュニティ形成にも寄与することができるのではないかという点。

4点目は「専門性のある人材や地域住民との連携による学校運営への支援」ということで、複合施設に様々な人材が集まるところで、こうした人材を学校の教育活動に活用することができるのではないかという点。学校への支援が行われるのではないかという点でございます。

5点目は「効果的・効率的な施設整備」ということで、こちらはハード面という形になりますが、それぞれ単体で施設を整備するよりも、複数の複合施設として整備することにより、一般的には整備費用の削減であったり、維持管理費用なども削減が期待できるというところなんです。こちらは一般的に言われている学校と他の施設との複合化の効果という点でございます。

こうした点を踏まえた上で、今回、パターンが3つございますが、それぞれについて簡単にご説明させていただきます。1枚おめくりください。

まずパターン①は学校と図書館を複合化した場合のメリットということで、この間議論をさせていただいたところではございますが、学校側にとっては図書館の豊富な資料を使えたり、あるいは図書館の職員の方のレファレンスサービスによりまして、教育環境が向上することが期待できるのではないかといった点。

図書館側にとっては移転改築という形になりますので、現地改築ですと建物を壊して改めて造る。その間、休館期間ということで、大体3年程度と言われておりますが、この休館期間がなくて図書館が改築できるという点。

あるいは記載のとおり、中学生の読書支援であったり、あるいは学校の施設を活用したイベントなども想定されるというところでございます。

公共施設マネジメントについては今、全国的な課題でもある公共施設の老朽化問題にいかに対応していくかという観点からしますと、施設のサービスの維持ですとか図書館の跡地活用といった点、そういったもの、あるいは図書館が休館期間中になりますと、その間、本をどこか別の場所に保管したり、そういったことの抑制にもなるというところがご

ざいます。

今申し上げた点を少し補足をさせていただきますので、次のページを御覧いただければと思います。

この公共施設マネジメントの観点から2つ掲げさせていただいたメリットの中で「施設の共用によるサービスの維持」ということで、例えば図書館を単独で改築した場合に比べて、図にありますとおり、学校図書館を併設する形にした場合には、図書館利用者の利用実績は土日・祝日がかかり多くなるというところで、閲覧スペースなどが足りなくなってしまった場合に、例えば学校図書館のスペースを開放することで閲覧室を増やすことができたり、あるいは先ほど申し上げました図書館のイベントなどについて、学校がお休みの日に例えば体育館を使ったりすとか、そういったことも可能性としては考えられるということで、相互の連携、協力が不可欠ではあるのですが、そういった相乗効果が考えられるのではないかという点。

2点目が跡地の有効活用ということで、図書館を学校に複合化した場合には先ほど申し上げました図書館が跡地になるということで、地域の皆様のニーズがある施設を整備したり、あるいは周辺施設を、保育園の例で行きますと改築をする必要がある。保育園については先ほど申し上げましたように休園できないので、どこかに仮設園舎を建てながらやっていく、その場所がどうしても必要になるということで、その仮設園舎の場所として使うことができるということが1つ跡地の有効活用であるのではないかというところです。

以上がパターン①のメリットになります。

1枚おめくりいただきますと、パターン②ということで、これは学校と集会施設を仮に複合化した場合の効果というところです。

まず、学校側で見た場合、これは冒頭の文科省の報告書にもありましたが、様々な人的資源を活用した学校運営の支援、こうしたものが期待できるのではないかと考えております。今でも学校支援本部の皆さんですとか、あるいは地域運営学校ということで杉並区においては地域とともに学校運営をしているところではございますが、集会施設ということで、様々な方がまた加わったりということが期待できるのではないかという点でございます。

次に、集会施設の面から見た場合ということで、こちらは例えば集会施設だけで整備した場合には設けることができない部屋、例えば学校にある特別教室、音楽室であったり家庭科室であったり、そういったもの

を学校が使わない時間、お休みの日ですとかにそういったものを使うことができるということで、地域の皆様にとってより利便性のある施設を整備することができるのではないかと考えています。

公共施設マネジメントの観点からしますと、それぞれ部屋を共用することで、より効率的な施設の活用という形になるかと思っております。

例として記載がございますが、授業や部活などで使わないときに、地域の皆様にご利用いただくことについて、施設の有効活用という点から効果的ではないかと考えているところでございます。

次のページに参りまして、5ページ目になりますが、パターン③ということで、これは学校は単独施設とした上で、図書館を集会施設と複合化した場合の効果でございます。

複合施設となった図書館のメリットにつきましては、この特色を生かしまして、集会施設の多目的室であったり、そういった部屋を使うことによって、図書館の講座、イベントなどが単独で整備するよりも充実することができるのではないかと考えています。

あるいは、ラウンジなどを集会施設側に設けることによって、図書館の資料を集会施設でも利用することによって調べ学習、読書が可能になるということがございます。こちらは実際には永福にある永福三丁目の複合施設というところで、永福図書館と新しい集会施設であるコミュニティふらっと永福というものが複合施設になっております。そういった中で、今、図書館の本を、申し上げましたようにラウンジと言われるところに持ってきて調べ学習、読書をしたり、そういったところで施設の相互の魅力を高めることができるのかなということで、現在、好評を得ているところでございます。

公共施設マネジメントの観点から見ますと、これはハード面ということになりますが、トイレや通路、部屋などを共用することによって、整備費や維持管理費を削減することができるということがございます。例えば出入口ですとか廊下ですとか階段、トイレ、それぞれの施設を単独で整備した場合にはそれぞれ必要になるところがございますが、複合施設にすることによって、共用することによって、そうした面積ですとか、そういったものを削減したり、そうしたことが光熱水費であったり清掃費であったり、あるいは長期的に見て修繕、そういった建物の維持管理費といったものの抑制にもつながるのではないかと考えるところです。

1枚おめくりいただきまして、最後のページでございます。今申し上

げた図書館と集会施設の複合化の効果について、イラストを交えながらお示しをしているところでございます。

内容としては、今申し上げたとおり、トイレや出入口の共用であったり、あるいは窓口、これは受付部分、図書館の受付であったり集会施設の受付を共用したりというところが期待できるのではないかなというところでございます。

以上が補足資料1ということで、それぞれのパターンについて複合化した場合のメリットを少し深掘りさせていただいたところでございます。

それでは次に、補足資料2というA4判横の資料をお手元にご用意いただければと思います。

先ほどありました保育園についてですが、先ほど来、保育園を改築するためにはどこか仮設を建てる場所が必要になりますとご説明させていただきましたが、前回、委員の方から、現在の保育園の敷地の中で改築することができないのか。そこはもう少し研究してみたほうがいいのではないかなというご示唆を頂きました。これについて研究を図った資料でございます。

結論から申し上げますと、現在のこの保育園の敷地は今、ゆうゆう館が併設もされておりますが、その敷地の中で改築を行っていくのは困難であると判断したところでございます。

実際にやろうとすると、資料の左側に「大宮前保育園配置イメージ」ということで、今、長方形の敷地になっていますが、いわゆる北側、上半分のところに今、園舎がある形になっており、下半分が園庭という形になっております。

この敷地内で建て替えをしようとする、園庭の部分にまず仮設園舎を建てて、一旦そこに移って、その上で現在の園舎を解体して新しく園舎を建てるという形になるのですが、どうしても工事の音ですとか振動が長期間発生するという、これは保育環境に重大な支障を来すことが想定されます。園舎内の活動だったり昼寝の時間であったりというところでございます。

また、敷地自体がそんなに大きいわけでもございませんので、園児の動線の確保ですとか、あるいは工事車両との動線、そういったものの確保が難しいかなというところがございます。

また建築計画上、この園庭の部分に仮設園舎を建てて十分な保育環境を確保しようとする、3階建て程度になることが想定されるのです

	<p>が、そうしますとこのエリアにおける日影規制に抵触する形となり、十分な園舎を確保することができないというところがございます。</p> <p>そういった保育園運営上の課題、あるいは建築計画上の課題から、現在の保育園の敷地の中では改築していくことが困難であることが分かったというところがございます。</p> <p>私からの説明は以上でございます。</p>
<p>教育施設計画 推進担当係長</p>	<p>続きまして、おめくりいただいて補足資料3「コスト比較（概算）」を御覧ください。</p> <p>こちらは複合化のパターンごとに総工事費のコストの比較をしてみたものになります。</p> <p>各パターン、北校舎を代表例としまして、パターン③については南校舎のパターンと、併せて4つで比較をしたこととなります。</p> <p>前回もご説明させていただいたところですが、各パターン、校舎配置については北校舎、東校舎、南校舎、3パターンぐらい、それぞれありますので、全部やろうとすると3掛ける3で9パターンぐらいあるわけですが、ここでは比較を簡単にするために各複合化のパターンで北校舎を代表例としまして、パターン③については南校舎のパターンも併せて比較してみたものでございます。</p> <p>パターン③の南校舎については、恐らく全体の中で一番リーズナブルになってくるであろうというものでございますので、そちらを基準値、ゼロベースといたしまして、そのほかのパターンでどれぐらい工事費に差額が出てくるかというところで、囲ってあります「総工事費（差額）」というところがその差分になってくるというところがございます。</p> <p>御覧いただいているとおり、パターン①、パターン②については大体11億円ぐらい。パターン③の北校舎については5億円ぐらいが差額として出てくると見込んでございます。</p> <p>その主たる内訳ですが、まず1つが仮設校舎費につきまして、こちらのほうは、一番右側のパターン③南校舎につきましては、特別教室棟の一部について仮設校舎が必要になると見込んでおりますが、そのほかの北校舎の3パターンにつきましては、全ての校舎、体育館について仮設校舎を造ることになりますので、その分が差額として5億円ぐらい出てきてしまうであろうと見込んでございます。</p> <p>続いて、改修費についてですが、パターン②につきましては、図書館につきましてはまだ築50年程度でございますので、内外装の改修を当面行いまして、築60年ないし65年程度で改築としたときに、その改修</p>

	<p>費の分というのがかかってくるであろうと見込んでございます。</p> <p>パターン①が高くなっている理由として出てくるのが、前回までもご説明したとおり、地下利用がある程度出てくるであろうというところで、3.7億円ぐらいが必要になってくるのかなと。</p> <p>そのほかに、複合化による諸室の共用化ということで、先ほど企画のほうからも説明がございましたが、パターン③については図書館と集会施設の複合化のときに、お互いに区民利用施設同士ですので、ロビーや共用部分等の共用化がよりできるという効果が出てくるのに対して、パターン①や②は学校と区民利用施設というところでセキュリティ等についても明確に引く必要性が高いというところもございますので、共用化できる部分が少し狭くなっているところで2億円前後の差が出ているというところで、トータルいたしますと、囲ったところのような差額が出ているとシミュレーションしてございます。</p> <p>今回については、現在インフレなどもかなり進んでおりますので、絶対値というところよりは比較をするための差額というところでまとめさせていただきました。</p> <p>続きまして、資料4「配置計画スタディ」を御覧ください。</p> <p>こちらについては前回、パターン①の北校舎、南校舎について図面をお示ししたところですが、今回、パターン②やパターン③についても配置のスタディをしていただきましたので、また今回も基本計画策定支援事業者からご説明していただきたいと思っております。</p>
<p>基本計画策定 支援事業者</p>	<p>よろしく願いいたします。</p> <p>0ページに「校舎配置パターン一覧」ということで、パターン①は前回お示したとおり、中学校と図書館、パターン②が中学校と集会施設、パターン③はこの敷地に対しては中学校単独という形の建て替えの配置のスタディをお示ししております。</p> <p>パターン①-1、①-2につきましては、前回ご説明したとおりですので、今回は割愛させていただきます。</p> <p>パターン②につきましては、5ページをお開きください。</p> <p>基本的には今回、北側校舎にて配置してございまして、図書館のあった部分について集会施設を持ってきたような形にはなります。そうすることによってほぼ校庭も4,400㎡を確保した形になります。</p> <p>教室に関しましても、現在の教室配置とほぼ同じような形なので、普通教室に関しても次のページのとおり、南側に普通教室を置いているということになっております。図書館に比べて少し集会施設ということで</p>

駐輪のスペースの周りをゆとりを持って入れているという形になっておりまして、比較的、パターン①-1に近い形にはなっております。ただ、地下利用がないということで大きな違いがあるかなというところになっております。

続きまして、7ページをお開きください。こちらはパターン③-1ということで、中学校単独の北校舎に配置した案になります。

とにかくこれは校庭を広く取れることを重視して配置してございます。4,400㎡程度だったものが200㎡ほどプラスされて、校庭の大きさが広く取れることが大きなメリットになっているのかなというところなんです。こちらも地下利用がないため、もともとの図書館との複合化の案に比べて工事費等が安くなるところがメリットに挙げられると思います。

2ページ進んでいただいて、9ページをお開きください。こちらが中学校単独で南校舎に配置した案になります。

こちらについてもパターン①-2と同様の形にはなるのですが、地下を利用する必要がないのが大きなメリットになっております。校庭はほぼ同じ程度4,400㎡の確保という形になっております。

続いて10ページをお開きいただきますと、普通教室の配置につきましては、校舎の配置の形状が変わっておりますので、パターン①-2の場合は北向きになっていたものが西向きにできるのではないかとという配置になっております。

共通して、どのパターンも4階建ての建物になっております。

続きまして、11ページをお開きください。改築工事のステップ図になっております。

一番左側のAというものが北校舎の配置のパターンの場合の工事の進捗のステップ図になります。まずは全て仮設校舎の利用になりますので、ここにざっと工事工程を書いておりますが、地下なしの場合はおおむね50か月、4年2か月ほど。地下がある場合はもう少しかかって4年5か月ほどかかるのではないかとという想定をしております。

真ん中につきましては、一部仮設校舎を利用するケースということで、パターン③-2になるのですが、中学校単独で南側校舎の配置になった場合です。こちらにつきましては、今ある特別教室棟の一部を解体して、その辺りも新校舎の建物の配置位置になりますので、一部を壊し、普通教室棟を利用しながら改築ができるのかなと。こういった中で、一部壊しながら工事が進んでいくものですから、先ほどのパターンAより

	<p>も工事期間がかかり、63 か月、5年2か月ほどを想定しております。</p> <p>最後に、中学校図書館という複合化の案だったのですが、こちらは新図書館の部分と校舎の部分を別で建築することが可能ですので、仮設の必要がないという想定をしております。ただ、これも建てて壊してを繰り返しますので、非常に期間がかかって、5年7か月ぐらいかかるのではないかと想定しております。</p> <p>最後に、参考なのですが、図書館の部分の建て替えをしたらどのようなものになるのかということで、簡単にボリュームを出しております。今は図書館と集会施設の複合という形になっております。</p> <p>土地自身は敷地面積が1,650㎡程度で、建蔽率、容積率が50%、100%ということで、最大で1,650㎡のものしか建つことができないという中で、あと日影規制もありますので、その辺を考慮して2階建てという形にしております。</p> <p>主には南側に集会施設、2階に図書館という形の配置にしております。左側は四角の建物が建てた場合、右側は中庭のようなものを造って少し広がりをつけた場合という想定をして、2つの案をお出ししております。</p> <p>配置のスタディについては以上になります。</p>
教育施設計画 推進担当係長	説明は以上になります。
進行役	それでは、これらについてご意見やご質問などがあれば、お願いいたします。
委員	<p>私のほうからは、西宮中学校区の地域教育連絡協議会の今年度の取組についてご報告させていただく中で、この西宮の改築検討会に関しての皆さんのご意見を伺いましたので、代わりにご報告させていただきたいと思っております。</p> <p>西宮中学校区地域連絡協議会は年2回の教育懇談と地域子ども促進事業西宮アドベンチャーというものをやっております。その中で、コロナ禍の前は800人規模の参加者の中で西宮中学校の生徒が中心になって、松庵小、高二小、高四小、久我小のPTAの皆さんと子どもたちが800人ぐらいの規模で開催しておりました。</p> <p>今年度はまだちょっと縮小の段階であったので、部活動体験というところで参加者が275名で無事に終わることができました。</p> <p>その中で、まずPTAさんは4小学校と中学校で大体30名ぐらいの役員の方がお手伝いで来てくださったのですが、式の内容を始める前</p>

に、「西宮中どうなるの」という声が、まずそこから私と新留さんがその声を受けて、そういったこともありまして、1月末の次の地域教育懇談はまず西宮の改築検討の話が1つ皆さんの要望でということと、あと「杉並教育ビジョン2022」というのが、2つですね、幸せを創るみんなの教育ビジョンで、相反する2つのタイトルでやりながら司会進行にも非常に苦勞したのですが、安川係長にはそのときにお越しいただいて、まだ途中の形のものの説明をしていただきました。

その中で、とある有識者の方からの話があったのですが、杉並自動車学校が3月で終わりになるということで、もしそこを区が買い取っていただけたら、今のこの西宮中をそちらに移行するという案もあるのではないかという、今、私も爆弾発言だと思うのですが、勇気を持ってご報告をさせていただいていますので意見ではなく、という話があったのをそのときの参加者の40人の皆さんが聞いていて、私は青少年委員の立場でいつも思うのが、西のほうとか外れのほうとか、ちょっと離れますけれども富士見ヶ丘商店街の話になるのですが、全国ワースト3番目で道が悪い道路ということで有名な場所で、しかもチヂミガオカと言われているという、同じ青少年委員さんが泣いていらしたというか、その地域性のことなのですが、私も含めて、ここは特に松庵小は何年か前に文科省から学校支援地域交流の推進事業ということで、名称が正しくなかったらすみません、全国69校の中の1位に輝いて、カマタさんとハナイさんが表彰を受けられたという由緒ある松庵小学校でもありますし、西宮中も学校通信のタイトルは「西宮ブランド、西宮プライド」ということで、杉並区の中でも私服の登校も、かなり前からレベルの高い教育、個性を捉えて、尊重して、子どもたちに考えさせて、補足授業でもそうなのですが、そういった取組をしている地域性でもあります。

その地域性が、なぜか端っこのほうだから、ここに詰め込まれている印象が非常に感じられて、今の話は今までの会議とは全く別の話だと思うのですが、柔軟性を持って聞いていただけたらうれしいと思います。

子どもたちにはコロナ禍であっても、できること、できないことを大人が先に言うのではなくて、制限がかかった中で一生懸命できることをたどって、新しいこういった取組ができたということを探し当てて頑張ってみようということで見守っている立場ですので、大人の私たちも縦割り、分かっているからとか、言っても無駄だとか、そういうのではなくて、夢と希望を持って、もしそれが可能だとしたら、この西宮改築検討委員というのもすごくかたいので、カシオペアプランとか、そう

	<p>いったものを持って西から杉並を元気にしようというぐらい、モデルにしていきたいぐらいの気持ちを、皆さん地域を本当に愛して西宮中に携わってくださっていると思うので、そういったことをすごく感じましたので、失礼に当たる面もあったと思いますし、また差し戻しがあつたとしても、大きな事業ですのでそこは地域の皆さんと今の話も既に動きがあるとも思われるのですが、駄目だからやるとかやらないとかではなく、一つ一つを駄目もとでも当たって、その中で新たな答えを皆さんで見つけられたらいいなと思いました。</p> <p>私に対しての回答は特に求めていません。ご報告までです。以上です。</p>
進行役	<p>ありがとうございます。青少年委員会のご報告とご意見というか、参考意見としてということですので、よろしく願いいたします。</p> <p>それではほかにございますでしょうか。</p> <p>恐らく本日ご意見とかご質問を受けるのはこの機会だと思いますので、何かありましたら、何でも結構ですので、ご意見やご質問を頂ければと思います。いかがでしょうか。</p>
委員	<p>今のお話に勇気をもらいまして。</p> <p>今ふと思いついたのですが、日通の跡地というのは金銭的にとても高いと思うのです。でも、豊島区が区役所を改築したときに、とてもすばらしく建築費用を出されました。ご存じですか、池袋の。豊島区の。</p> <p>そのように区が金銭を生むようなことを、資金を調達できるような運用の仕方というのを考えてもいいのではないかなと。</p> <p>日通と西宮中の敷地を合わせればかなり広い敷地になりますよね。表側、井の頭通り側を、資金を生むような建物にしたりして考えると。それこそ夢です。今さらなのですが、そのようにすると、杉並区もすばらしい建物ができるのではないかと、今ふと思いました。</p> <p>ありがとうございます。</p>
進行役	<p>これもご意見としていただきます。</p> <p>ほかにございますでしょうか。</p>
委員	<p>質問です。普通教室は規模 72 m²の 10 室ということで、前回のときに子どもの数が増えるであろうと。それから松庵東町会地区では 40 代の人が多いですよという話をしまして、この数にこだわる根拠は何なのでしょう。増やす計画はないですか。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>10 学級とした根拠については、前回お示ししたとおりの、今後の、この学区域にある子どもたちの人数、それから直近は確かに来年、再来年ぐらいまでは子どもたちの数は増えます。11、12 学級まで行く想定</p>

	<p>はございます。</p> <p>ただその後、子どもたちの数が、歳児が低くなるにつれて少なくなっているという状況の数字から改築をする今の想定だと令和10年度ぐらいに新校舎になるとしたとき以降の子どもたちの数で推計したときには10学級というところが数的には妥当なのかなというところで試算しているところで、その点は、もちろんお隣のところとか、生産緑地などがマンション等になる可能性はもちろんありますし、そういったところもある程度は見込んだ上で、それでも現在のところは10学級で収まるのではないかという試算を立てているところです。</p>
進行役	よろしいですか。
委員	(進行役に対して) 今聞いたような考えで大丈夫なのですか。
進行役	<p>(進行役である) 私が申し上げてよろしいでしょうか。</p> <p>今までの会でもいろいろご意見が出たとおりなのですが、今後、1学級の人数が変わったり、この地域の人口動態により生徒数が急激に増加したりするとかいろいろな可能性があるのもうちょっとフレキシブルにというか余裕を持ってということは皆さんからご意見を頂いたとおりでございます。</p>
委員	<p>丁寧に比較していただいてありがとうございました。比較の内容自体はよく理解いたしました。</p> <p>考え方のところで、1つ意見を申し上げたいと思います。教育は百年の計というように、国の礎をつくるころだと思いのですね。特に中学校の教育はとても大事だと私は思っております。確かに少子化ですが、少子化になればなるほど、むしろそこにしっかり投資をするという考え方でなければ国は傾いていくと思うのですね。</p> <p>というのは、一人一人の子がしっかりした資質を持った人間に育って行かなければ国は成り立たないので、その意味では中学校時代の教育に投資をするという考え方をしていかないと成り立たないというのが1つあると思います。</p> <p>その上で申し上げますと、確かに地域の人たちとの交流はとても大事で、既にこの状態でも、この地域ではかなり地域と交流する授業が実際に行われています、この状態でも。その意味では、図書館との複合化、あるいは地域のコミュニティ集会所と複合化することのメリットというのは施設の、そうなったとしても、今より効果が上がるとは思えないということが1つです。</p> <p>確かに、子どもが地域と、知識とは別にしっかり地域の授業と参加し</p>

	<p>ていくというのは人格形成でもとても大事な点ではありますが、中学校だけに図書館を併設することがプラスではなくて、むしろ図書館側から考えると全世代が利用できる、いろいろな多様な人が利用できる場に中学生が行くという発想のほうが私はいいと思います。</p> <p>それはなぜかという、今、中学校と図書館と一緒に併設されているところが本当に住民の人と中学生の交流の場になっているか、あるいは勉強のための助けになっているかという、そうではない自治体があると私は思いますから、むしろ図書館は図書館として、全世代が利用できるコミュニティの施設の機能もできる図書館というふうに考えていく。中学校のほうは単独に、しっかり教室も担保していく。</p> <p>もう1つは、話がいろいろ飛びますが、中学校時代をしっかりと教育にしていくということは、むしろ将来的には科目別の、進路別の教室が必要になるという教育も考えられる。そうすると、教室以外にむしろ特別的な、今、英語と数学が少人数に、小学校でもなっていますが、そのほかの教科もむしろ習熟度別になる可能性もある。</p> <p>そういうことも考えると、10 教室以外の特別教室がもっと必要になるという可能性も考えると、そこを中学校の建物としてしっかり担保していくような考え方が基本的には必要ではないかと私は思います。</p>
進行役	<p>ご意見としてでよろしいでしょうか。ありがとうございました。 ほかにございますでしょうか。</p>
委員	<p>説明ありがとうございました。</p> <p>幾つかあるのですが、1つは、やはり児童数のところで、なぜ10学級にこだわるのか分からないということです。</p> <p>つい先日、5分区分7校の小学校の現在のPTA会長と来年度のPTA会長が集まる会長会という会がありまして、意見交換しましたが、松庵も高四も基本的には児童数が増えているのですね。たしか久我山もそうだったと思うのですね。</p> <p>前回も申し上げましたが、たしか今の3年生、4年生は松庵は2学級なのですが、5年生、6年生と1年生、2年生は3学級です。しかも、3、4年は大体60名台なのですが、今の1年生は80名ですし、来年度は85名の予定です。具体的に数字が増えています。</p> <p>聞くとところによると、松庵学区なり高四学区に狙い撃ちで引っ越してきたいという方もいらっしゃるのですね。取りあえず一回学区外に住んで必ず中に入りますからとか、そういう話もあるので、いろいろ統計の数字はあるのでしょうかけれども、その辺りの現実の状況をもう少し丁寧</p>

	<p>に数字を拾って見ていただけたらというのが一点。</p> <p>それから、たしか文科省の統計では特別支援教育の対象児童数というのは増えているのですよね。そうすると、部屋も必要だと思うのですね。もっと言うと、いろいろ特別支援教育に関わる公務員の方だとか、そういう人手などももっともって確保してほしいというのは個人的に意見を持っているのですが、そうなってきますと、さらに普通の学級以外に特別支援教育対象のそういう教室なりを充実させていかないといけないと思いますし、そこを置き去りにするのはどうなのかという意見です。</p> <p>それから、これも第1回目からお話ししているのですが、今の宮前図書館は非常にうまく機能していると思うのですね。0歳児からその母親がそこで母親同士のコミュニケーションを取ったり、子育ての悩みを話したり、もちろん小学生も中学生も高校生も大学生も、成年、また引退された方も楽しく活用している施設。それを学校のほうに持ってくるのはどうなのかなと。せっきくの貴重な地域の言ってみれば宝箱みたいなものを取り去って、壊すのは簡単ですけどもつくるのは大変ですから、学校と一緒に複合化する。それはいいのですが、それが本当に地域にとってプラスになるのかと思います。</p> <p>むしろ、いろいろなメリットのところで学習効果が上がる云々とかあったのですが、どちらかといえば最後にあった図書館と集会施設との複合化のパターン③ですか、あちらのほうと言ってみれば現実的なのではないかなという印象は持ちました。</p> <p>それから最後に、これは質問ですが、保護者からたくさん、ぜひ聞いてくれと言われて聞くのですが、工事期間中の給食はどうなるのですかという質問をかなり受けています。</p> <p>この1、2年にすごく共働きの人が増えているのですよね。ですから、児童館も学童もすごく増えているのですが、とてもではないけれども毎日弁当を作る、1人だったらいいですけども2人、3人お子さんを持っている人なんかは、それを3年間とは考えられません。そうすると、進学先も考えないといけないという切実な声が結構ありまして、これは今日、教えていただければと思います。</p> <p>長くなりました。以上です。</p>
進行役	<p>ありがとうございました。学級数とかの話は先ほど来、出ている話ですから、ぜひ考えていただければと思います。</p> <p>最後に給食のことについてお願いいたします。</p>

教育施設計画 推進担当係長	給食については、仮に給食室を壊す場合であっても、仮設の給食室等を造りますので、給食提供が止まるということはないです。そういったことは基本的にはない。給食室がある状態を維持していくという考え方になっております。
進行役	よろしいですか。 ほかにございますでしょうか。
委員	お話を伺いまして分からないのですが、この話合いは今日で最後、話合いの場は今後は、次回からは。さっき進行役の方が……。
進行役	誤解があったら申し訳ございません。今日の協議の中では、関係のご意見を伺うのはここだということであり、話し合いが最後ということではありません。
委員	<p>では、まだ今後も話し合いは続けていくということで。</p> <p>話を聞いていて、保育園のこととかも絡んできて、何か今、詰め込みすぎているというか、一気にこの建て替えのときにいろいろなことを考えないといけないということで、なぜもうちょっと前に、例えば高二小の建て替えのときに、あのときは違う施設をやったりとかはしていた…</p> <p>…。</p> <p>そういうときにもうちょっと代替地で早めに保育園を建て替えたりとかしたらよかったのではないかなと、素人目にも感じてしまったのですが、今のこの時期に全部が関わってきて、私的にもいっぱいいっぱい、例えば保育園のことを考えると、パターン①かなと思うけれども、実際、中学校に通わせる保護者としてはパターン③が、敷地的なことを考えると図書館と中学校の複合化が、これも何度もあるのですが、敷地的にもっと広ければウェルカムで中学校に図書館があって中学生が使えるというのはすごくいいなとメリットを感じるのですが、どうしても運動場が狭くなってしまうと、パターン③で少しでも運動場が広いほうが保護者の目線では子どもたちの部活動などもできるのでいいなと思うのですが、保育園がどうなるのかというのを、ほかに保育園を建て替える場所はまだここしかない、そういうことしかないのか分からないのですが、素人で判断するのが非常に難しいなと感じてしまいました。</p> <p>あと、建て替え中の運動場ですが、神明中も建て替えの際に保護者説明会があったときに、校長先生が神明中からそういう運動場を貸してくださいとかいう話は来ているのですかと言ったら、全然そういう詳しい話がないという話もあったので、一体、運動場とかはどこまで、例えば中学校、仮設校舎で建て替えるときに、子どもの体育の授業の間の運動</p>

	<p>場はどこを使うのか。例えば高二さんとかは運動場は授業でいっぱいだと思うので、その間、中学生はどこになるのかとか、そういうことももうちょっと細かく聞いておきたいなと思いました。</p>
進行役	<p>ご意見が多かったのですが、最後の体育の運動場の件のみ、ご質問、よろしいでしょうか。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>運動場については、建て方にもよるのですが、仮設校舎を建てたりですとか工事ヤードが必要になってくる関係で、ほとんど子どもたちが授業で使えるようなスペースを屋外に確保するというのはいずれの建て方でも難しいのが現実かなと思います。</p> <p>ほかの学校などでも体育館については、建て方にもよりますけれども、仮設か本設かはありますが、体育館はしっかり改築期間中も何らか確保すると。</p> <p>屋外の運動場については、お話しいただいたとおり、近隣の学校にいろいろご相談して、授業もそうですし、部活動についても、野球部はこの学校、サッカーはこの学校と、いろいろお願いをしながら使わせていただいているというのが現実ですので、西宮中についてもこれから、今はまだ具体的な改築のスケジュール等も決まっていない段階ですが、その辺りがある程度見えてきたら、高二小も近くですし、西高も含めてそこはご相談させていただいて、ご協力いただけるように我々も学校と連携をして、お願いに行きたいと考えています。</p>
進行役	<p>今のご回答でよろしいですか。</p> <p>ほかに、今に関連して、よろしいでしょうか。大丈夫ですか。今のご回答だけでよろしいですか。</p> <p>今のことに関連してですか。</p>
委員	<p>この会自体は保育園のことを審議する場ではないとは思うのですね。ただ、代替地では今ゆうゆう館が建っている敷地に、ゆうゆう館が例えば図書館と先に複合施設のところに移動すればそこが使えるのかなと思います。それが1つです。</p> <p>関連の質問ではないことは、後で言ったほうがいいですね。</p>
進行役	<p>先に他の委員の方、よろしくお願ひいたします。</p>
委員	<p>今、図書館のところを私どもの文化の拠点として事を進めております。図書館の隣にかえで園という特養があるのですが、そこもいろいろと話し合いを持ちまして、あそこにコミュニティセンターなり防災公園を設けさせていただきました。その運用が今、うまく行っていないところもありますけれども、私どもは、もし災害が起きたときには図書館の</p>

前に一時的に本部を立ち上げます。それで事を運ぶと。

先日も防災訓練をやりましたが、そういう形を考えておりました、あそこから防犯パトロールだとか、子ども祭りだとか、そういうものもやっております。その場合、図書館さんにもいろいろとご協力いただき、本を提供してもらったり、いろいろやっております。

ですから、私としては図書館と集会施設を一緒にして、今あそこにさざんか教室があるのですが、あれもなくしてしまうのは無理があるかと思うのですね。区に今4か所あって、それはお分かりのように多方面の人がこちらに来て、時間もずらしてという形で運営しております。

私どもも、さざんかの人たちともいろいろイベント等で非常にお世話になっておりますが、そういう形で、西宮の図書館をもう少し拡充して、内容の濃いものにする。これからの時代に合ったADシステムだ何だと、今朝もNHKでやっていましたけれども、バーチャルのああいうものだとかができるような施設にしていったらいいのではないかと。

それから、図書館は民営化してもらおうと。それで日曜祭日も使える、夜も8時ぐらいまで使えるという形にしないと、お子さんたちが今、見えていますと、宮前の図書館などでも非常にみんな勉強しにあそこへ来ているのですね。核家族になって、家でお父さんがデスクワークをやっている、お母さんもやっているなんていうことで居場所がないという形で、夕方からとか、日曜祭日はあそこに150台ぐらい自転車が来ております。それで運営して、非常にいい形で回っているのではないかと考えています。

だから、保育園とか、これも一緒にやろうとしているからなかなか難しいところで、保育園は待機児童が今、杉並区はゼロという形に来ているので、保育園を維持していかななくてはならないのだろうか。そういうことも考えないといけないと思います。

奥さんたちのご意見ですと、ちょっとの時間、2、3時間預かってくれるようなひととき保育ですか、そういう場所だとか、それから病弱な方、身体に障害のある方がちょっと預かってもらえる。その間にお母さんたちはパーマ屋さんに行ってくる、病院に行ってくるとか、何か用足しができるような、そういう施設を複合していただければ使いやすいのではないかと。

私も久我山幼稚園がやっております風の森の保育園の理事もしております、ニュース等で何回か紹介されていると思いますが、風の森の場合には、来年度の保育園者を10名募集したら170名来ました。それ

	<p>はなぜかという形で、テレビ等でも取り上げられています。皆さん、見た方もおいででしょうけれども、昼休みが取れるとか、時間もびったり終わる、残業がないとか、そういういろいろな面がありまして、応募者が多いです。そういういろいろなことがありますので、個々においていろいろ検討していったらいいのではないかと。</p> <p>宮前五丁目の近隣の方においては、説明会なり、工事に関する事でいろいろお聞きしたいこともあるかと思いますが、それはそれでまた説明会をしていただければと思いますので、よろしくをお願いします。</p>
進行役	<p>どうもありがとうございました。主にご意見だと思いますので、ぜひそれは真摯に受け止めて、ご検討いただければと思います。</p>
委員	<p>私からは質問です。今、建て替えのときに校庭が使えなくなる、しかも3年か4年ぐらいということも含めて、いろいろな問題が建て替えのときに起こるわけですが、今、委員の方が教育懇談会で出た話としておっしゃいましたけれども、日通自動車学校の跡地を、あちらが広いと思いますが、一部を等価交換して一部を支払うという形で杉並区が買い上げて、そこに中学校と交換するというのを新たな提案としてすることは可能ですか。</p>
進行役	<p>お答えできますでしょうか。</p>
企画課施設マネジメント担当課長	<p>何点か日通の土地のことを頂いています。どこまでお話しできるかというところはあるのですが、うちのほうで実際、今後どうなるのかというところで自動車学校に問合せをしました。</p> <p>詳細についてはお答えできないというところだったのですが、次に向けての契約というのでしょうか、そういったものは決まっているというお話を頂いたところです。ただ、どう使うのかとか、そういったところは契約の内容等もあるのでお答えできないというお話がありました。</p> <p>そういったことを踏まえますと、私どもも大変魅力的な土地だとは思っておりますが、今のこの時点においては区として例えば手に入れるとか交換したりとか、そういったことはできないのかなと受け止めているところでございます。</p>
進行役	<p>よろしいでしょうか。</p>
委員	<p>既に契約先があるということですね。</p>
企画課施設マネジメント担当課長	<p>詳細は言えないのですが、既に契約しているような状況があるということです。</p>
進行役	<p>挙手された委員の方、関連のことでしょうか。</p>

委員	<p>3月に閉館ということをごんたがおっしゃっていましたが、8月末に閉館という話を聞いております。</p> <p>私は都会議員を通じて、あそこを免許の更新センターにしてくれという形で申し入れております。</p> <p>というのは、今、75歳以上、70歳以上ですか、の人が免許を更新する場合に、まず府中の試験場へ行って痴呆症の検査をやると。次に、どこか教習所で実技の試験をやると。</p> <p>これがなくなってしまうと、杉並区には教習所がなくなってしまう。そして、今度は免許証をもらうときには、都庁に行くか新宿警察に行つて、目の検査をして免許をもらうと。そうしないと、3回もあちこちに行かないといけないのが実情なのです、免許を更新する場合に。</p> <p>ですから、ここがちょうどいいから、東京都のほうで買つていただいて、免許の更新センターにしてくれないかということで、都会議員を通じて、今、一生懸命、プッシュしているのですが、どうなることかと思つています。</p>
進行役	<p>情報としてということですね。ありがとうございます。</p>
委員	<p>ちょっと戻るのですが、資料2の改築規模について、毎回資料の提出ありがとうございます。</p> <p>基本的なものだということなので、さっきから細かく見ていたのですが、問題が、一番上のところが、戻る話で申し訳ないのですが、前回もお話したのですが、将来を見据えた教育というと10年、20年というと、今、40人学級が35人学級になったときに、推定だけで教室数を決めていいのかどうか。将来的に増えるのではないかという予測があるだろうと思つたのです。</p> <p>ですから、5年、6年先の推定人数で、40人学級で10教室というのは不安だということが1つです。しつこいようですけれども、前回と同じようなことで申し上げました。</p> <p>それと、少人数学級が数学だけ。ほかにもあるのかどうか。ここは学校側とも話さないといけないのですが、もうちょっと増やしてもいいのかと。ただ、標準規模ですので、ずっと細かく、他の管理室からその他を見たら十分これは考えているなということには分かりましたので、一番引かかったのはそこです。</p> <p>それともう一点、これは学校施設だけなのですが、学校自体が災害だとか震災があつたときに拠点で、阪神淡路のときの自分も見ましたけれども、関連で研究させていただいた関係もあるので、学校を使って生活</p>

	<p>する。昔は一時避難場所だったのですが、今は学校で拠点化という形になってくると思うのですね。</p> <p>これはあくまでも改築規模についての教育的な部分だけだと思うので、当然、区も考えていらっしゃると思いますので、先に行ったときにはその資料も提出をお願いしたいなと思っています。</p>
進行役	<p>教室数のことは先ほど来出ていますので、ぜひご検討いただければと思います。あとはご意見として受け止めていただければと思います。</p>
委員	<p>まず質問で、資料2の特別教室の中に、たしか前回の懇談会では特別支援という項目がなかったですか。特別教室の中に特別支援という欄があったかと思うのですが、今回はないなと思っていたのと。</p> <p>あと、教室数についてはもうこれ以上あれですが、第2回の懇談会では12学級規模で配置校舎のスタディを出しておられたのに、なぜ急に、1月になって10学級と定められたのか、そのわけを知りたいなと思いました。</p> <p>それと、これは意見ですが、今、多くの方が図書館は地域のコミュニティ施設と一緒にあったほうがいいとおっしゃっていますが、その場合、さざんか教室のようなものをそこにうまく入れられる形をぜひ考えてほしいです。</p> <p>1月31日の地教連のときにも参加された方で、さざんか教室をお子さんが利用している、小学生で利用しているお子さんの意見、地域になくなってほしくないという意見がありました。私たちは中学のことばかり考えていましたが、小学生でも行ける場所、その観点を持って、不登校の数が過去最高になってきていますし、3月20日の朝日新聞には小中高生の自殺者が非常に増えている、コロナ前の1.3倍ぐらいになっていて、その特に大きな原因は学校関係ということも記事で読みました。</p> <p>なので、これは意見ですが、今後、杉並区が施設再編を進めていくこのチャンスに、不登校になる前にでも教室から出て外で勉強ができるような場所を中学校区に1つぐらいは用意していただけたらいいなと思います。本当にお金がかかるかもしれませんが、他の委員の方がおっしゃるように、そこにお金を投じることは命にもつながりますし、決して贅沢なことではないと思います。よろしく願いいたします。</p>
進行役	<p>ありがとうございました。</p> <p>今、最後のご意見ですけれども、質問が2つございました。特別支援教室ということで、そういう表示がなかったということと、教室数につ</p>

	<p>いてご質問がありましたので、よろしく申し上げます。</p>
<p>教育施設計画 推進担当係長</p>	<p>特別支援教室については、真ん中よりちょっと下ぐらいのところに、72㎡ぐらいということで計画してございます。</p> <p>それから、なぜ10学級になったのかということですが、先ほどもご説明しましたが、確かに直近で12学級ぐらいに、再来年ぐらいに増えるというのは多分、今の推計でもそうなのですね。その後の推計というのが最新の住基の情報などを見て精緻に推計したところ、改築のスケジュールで新校舎の開校時期等を見据えると、その後については子どもの数が減っているのが現実というところも踏まえて、改築の新校舎を使う時期以降では、基本とする学級数は1年生が4学級、2年生・3年生が3学級というところでございますけれども、前回は申し上げたとおり、先ほど他の委員からも今後、様々、少人数のクラスとかそういった教育のやり方も変わってくるのではないかとということもありますが、我々の考え方としては、多目的室ですとか少人数教室ですとか、進路指導室なども含めてですが、普通教室サイズのスペースをなるべくたくさん確保して行って、人数が少ないときにはつなげて、学年単位の活動ができるように広く使えるであるとか、あるいは10を超えて瞬間的に11学級になることもあるかもしれません。その場合でもすぐに困ることがないように普通教室サイズのスペースはかなり確保はしてございますので、そういったことで将来も含めて困らないような規模はしっかり確保できるのではないかとということでは計画をしていると考えております。</p>
<p>進行役</p>	<p>よろしいでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>他の委員の方のお話、私、前回の資料で、資料2の3ページのところで特別支援教室、現状が55㎡、改築面積が72㎡になっているのですが、前回、有識者の先生から200㎡は必要ではないかというお話が出ています。メモがあるのですが。言ってみれば3倍近い。これは根拠があることなのかなと思います。</p> <p>このご意見はどうされるのか。スルーされるのか。意味のあることだと思いますので、これを検討に乗せていただくのがいいのではないかとと思うのですね。</p> <p>コストの話も出るのですが、コストの削減ばかりではなくて、子どもたちに掛けるコストは必要なお金だと思いますので、むしろ将来を担う子どもたちに必要なお金をかけていただいて、そういう学びの場をつくらせていただきたいと思うのですが、いかがでしょうか。</p>
<p>教育施設計画</p>	<p>前回、200㎡ぐらい必要なのではないかというところは、恐らくです</p>

<p>推進担当係長</p>	<p>が、特別支援教室というよりは特別支援学級という、通常学級とは別のところで特別支援学級を併設する学校についてはそれぐらいの規模が必要になってくるという意味で言われていたのではないかと思います。</p> <p>ただ西宮中については、特別支援学級を併設することは計画上ございませんので、ここに書いてある特別支援教室というのは、通常学級に通いながら週1、2回、少人数でしっかり取り出してやるという子どもたちを想定しております。</p> <p>ただ、先ほど他の委員の方もおっしゃられたように、確かに特別支援の対象の子が増えているというのは我々も認識しておりますので、ここだと、72㎡となると1教室分、それを2つに分けて4人ずつぐらいで使うのかなと思いますが、それは学校や特別支援の所管とも相談していきながら、今後の動向も考えて、柔軟にやっていきたいと思っております。</p>
<p>進行役</p>	<p>よろしいですか。</p> <p>そろそろお時間も迫ってきておりますが、先ほど私の言い方が悪かったかもしれませんが、今日でこの会が終わりというわけではございませんので、特に今日、何かありますでしょうか。よろしいですか。</p> <p>それでは、これで本日予定している議題は終了となります。</p> <p>閉会の前に、学識経験者の先生からコメントがあれば頂きたいと思っております。よろしく願いいたします。</p>
<p>委員</p>	<p>今日もいろいろと皆様の疑問点とかご意見とかを一緒に聞かせていただきました。</p> <p>前回のことを受けていただいて、配置計画スタディを12枚出しているのですが、学級数の見積りということで、私としても学校に勤務していたことがありますので、定員数が変わるということはものすごく一番ネックかなと思っていたりします。</p> <p>加えて、少人数対応、特別支援も含めて、いろいろなことで使う小部屋が必要になってくるのは間違いないことですので、そういうことを考えると、中学校校舎内だけでもどうしていくのかというのはかなり詰めなければいけない問題があるのかなと思います。</p> <p>また、こちらの配置計画スタディでは最後に図書館プラス集会室という3番の案で図書館のほうも出していますが、もしそうだとすれば図書館で1階に集会室があればいいのかという問題が、これは改めて図面を見て、えっと思ったのですが、私、自分が手足が不自由になってしまって、やっと階段が上れるので今日は参加できたのですが、1</p>

	<p>階にあるということが年寄りとか、あるいはまだよちよち歩きの乳幼児であるとかいう人間にとってどれだけ大事な事かというのはいさぐく身にしみて感じているので、これは逆ではないかなと思ながらこの図面を見ていたりするので、今日のポイントとしては、パターン②なのかパターン③なのか、どちらがどうということも特に突き詰められたわけでもなくお話が進んでしまったのかなとは思っています。</p> <p>自動車学校の跡地は非常に魅力的なお話だったのですが、可能性がないとすればその用地の使われ方次第ではまた住民増の可能性が出てくるだろうし、いろいろなことが流動的になってしまっているのだなと感じました。</p> <p>ただ、いろいろな集会室と図書館が私は一緒になることがすごくいいなと思っていて、あと不登校の子どもの話も出ましたが、経験的に、中学校と距離的に、物理的に離れているからそこに通うことができたというお子さんたちがいたということも私は何ケースか知っていますので、そういうことを考えると、中学校は中学校の改築として、どう校舎を新たにやっていくのか。社会教育施設としての新たな、DX化も含めて、図書館と地域とのコミュニティとしての図書館や集会室のあり方をどうしていくのかということと、そちらで話を進めていかないと進まないのではないかと感じられました。</p> <p>私からは以上です。</p>
進行役	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは中村部長よりお話があります。よろしく願いいたします。</p>
学校整備担当部長	<p>長時間にわたり、本日もありがとうございました。今日で6回目の懇談会ということですか。当初、この西宮中の改築は、ほかの学校の改築と少し違って、図書館との複合施設化というのを視野に置いて検討していくのだということで、これは当然、議会もご確認いただいた行政計画に盛りられたところをスタートラインにして、昨年8月にスタートしました。</p> <p>私も、しっかり決められたことを皆さんにもお示しをし、説明をして、その効果だとか課題も含めて共有をしてやっていきたいと思っていました。夏が終わり、秋が来て、様々、特に図書館の関係の皆様方から、「高井戸中は行った、北区の学校も行った、けどあそこの学校は結構広いよね。一緒にするのはいいけれどもこの西宮でできるの?」、そういうお話がたくさんあったかなと思っていました。</p> <p>確かにそうだなと思っていて、この間、ちょうど秋から冬にかけて、</p>

パターン①は行政計画ですね。それから、まだ行政計画にはないパターン②、すなわち西宮中と集会施設、規模は当然、図書館よりも小さいですから、キャパは少しありますけれども、集会施設を合築するパターン。それからパターン③は、今、委員の方からも出ましたけれども、むしろ宮前図書館と集会施設を一緒にしてもいいのではないのという。中学校はこの場合には単独という2つのパターン②とパターン③をさらに出して、皆さんからもご意見を頂く必要があるかなと思いました。

行政計画はどうしてもまだパターン①なのですよね。ただ、今日も皆さんの議論を聞いてみて、なかなかパターン①だと先に進まないかなという思いを私も今、思っています。再検討が必要なのではないかなと思っているところです。

実は、パターン②やパターン③を出した段階から、行政の内部でもパターン①ではない形が考えられるのではないかということを少し議論し始めています。

なぜパターン①を最初に推したのかということをしっかり皆さんにもご説明しなければいけないなと思って、この会は学校関係者の方々や図書館関係者の方々の集まりではないですか。そうですよね。地域の防災の方にも、すみません、遅ればせながら入っていただきました。

そういった集まりになっているけれども、なぜパターン①を推すのかだとか、そういったことを皆さんに説明する中で出てきたのが保育園でしたよね。それから、さざんかの問題が今日は会長からも出ました。さらには防災。それから学校の広さの問題も出てきた。

ということで考えると、なかなかこの問題を解決するには、図書館と学校だけの問題ではうまく行かないのではないかなと思っていて、そこにパターン①には固執できない、するべきではないのかなという思いもすごくあるのですね。

最初に、今はパターン①で進んでいるという行政計画を見直さなければいけない。これは行政の中で宿題としてやらせてもらいたいなと思っています。それは皆さんの声を聞いたからです。これは、ともすると地域の要望でもないのかもしれない、ということも含めて、少しかじの切り方が必要かなと思っている。

かじの切り方としては、もう少し広めに、皆さんにも保育園のことを考えてもらいたいし、さざんかもあるし、防災もありますよね、そういったことも広く皆さんにもお考えいただけるような、そういった話合いの会議を持たなければいけないのではないかなということ、これから

少し行政も内部会議で検討していきたい。皆さんから気づかされたこともあります。そういったことです。

もう1つは、この宮前の地域は結構変化の激しい地域なのだよ。子どもの数は増えているのではないですか。これも変化です。それから、生産緑地、結構ありますよね。今、区役所のある阿佐谷や高円寺に比べると全然違います。その証左が隣の自動車学校かもしれません。

そういった形で言うと、人の変化もあるし、土地の変化もある。といったところで、そういったことも少し多角的に見て、この宮前の地域をどういうふうにしていくのかという、そういったこともある。だから、そういった意味で言うと、もう少し広めに考えて、今回、8月からこれまで皆さんから頂いた図書館に関する問題、それから学校に関する問題、これもしっかり受け止めていく。で、まとめなければいけないと思っている。

それを踏まえて、これからどういう形でまたこの問題、学校や図書館だけではなくて少し幅広に検討できるような、そういったやり方というかスキームを考えてみたいなど、今、思っているところです。

皆さんには、年度をまたいでしまいますが、4月が来てしまいますから。そこで我々が考える、こういうふうを考えてみたらどうでしょうかという答えを披歴できればということが一点。

それから、先ほど申し上げたように、8月から今までたくさんの時間をかけていろいろなご意見を頂いた。行政もここは立ち止まらなければいけないなどという、立ち止まるポイントも明らかになってきた。そういったことも踏まえた今までの議論の中身をまとめる必要があると思うのです。でないと先に続かないから。

そういったこともしっかりまとめた上で、まずは皆さんにお示しいなと思っています。そろそろその方向性を決めていかなければいけないなどということと、それからこの懇談会の前半戦で少し私のほうからも申し上げた、図書館と学校の複合化はやはり考え直さなければいけないなどという思いが今、しています。

そういった意味で、計画を少し変えて、どういう会議体、あるいはどういう形の検討会を宮前の中で組織したらいいのかなということも含めて、少し宿題にさせてもらえればと思っています。

それから最後に、3月から4月にかけては、民間の会社がそうですけれども、異動の時期でございます。これは私が決められることではないのですが、私も4月にまた別の職場に行くことになりました。ここに

	<p>る何人かも異動になります。</p> <p>ただ、それは後任の部課長にしっかり引き継いでいく必要があるということで、本日は、4月から担当する青木学校整備課長、それから出保図書館長を連れてきました。皆さんの熱いご意見、皆さんの熱いご発言を聞かせたかったわけです。そういった意味で、今日、しっかり胸に刻んだと思いますので、そういった意味で今年度もあと1週間ぐらいありますのから、しっかり引き継いで次の者に託したいなと思ってございます。</p> <p>少し長くなりました。私からは以上でございます。</p>
進行役	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは最後になりますが、事務局から事務連絡をお願いいたします。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>今日もたくさんの意見をありがとうございました。今日の会議録につきましては、これまでと同様、まとめり次第お送りさせていただきますので、内容のご確認をお願いできればと思います。</p> <p>また、次回、第7回の懇談会につきましては、ただいま部長のほうからもお話がございましたが、庁内の調整等もございまして、日程は未定でございますが、当然年度はまたいでしまうことになると思います。決まり次第、開催通知を送らせていただきますが、できれば5月ぐらいには開催したいと考えてございます。</p> <p>それから、懇談会の委員でPTAの会長さんなどは年度が変わると代わられる方もいらっしゃるのかなと思うのですが、役職に代わるに従って、次の会長さんに引き継ぐということでも構いませんし、今回、引き受けていただいた方は引き続きということでも構わないとは思っておりますので、もし代わられる場合には事務局までご連絡を頂ければと思います。</p> <p>ただ、先ほど部長からもお話しさせていただいたとおり、計画の見直し、仕切り直しということになると、5月ぐらいにやって、そこで一旦仕切り直しという可能性もありますので、代わられる場合でもその辺りをお含みおきいただければと思います。</p> <p>事務局からは以上でございます。</p>
進行役	<p>今、最後におっしゃったことなのですが、仕切り直しになる可能性があるということは、今後話し合いが続くにしても、今行っている会は次回1回終わる可能性があるかもしれないということですね。例えば団体の役職としてご参加いただいている方は、年度が変わって新任の方がな</p>

	<p>っても、その1回で終わりになってしまふかもしれないので、それを踏まえて今の方が留任するのか新しい方を選ぶのかを考えてくださいということですよ。</p>
<p>教育施設計画 推進担当係長</p>	<p>そうですね。委員の方の中で、引き続きやっていただけるということで、先ほどお話を頂いたのですが、そういう形にしていれば一番いいかなと思いますし、もし続くようであれば、その段階でまた新しい会長さんに引き継いでいただくというのもあるかなと思いますので、その辺りを考えた上で、もし代わられるようであればご連絡を頂きたいということ。</p>
<p>進行役</p>	<p>もし仕切り直しになってしまったときには、せつかく委員を代わっても、その1回だけということもあり得るということですね。まだ決定ではないのですけれども。そういうこともお含みおきいただきたいということですね。</p> <p>以上で本日の懇談会は終了させていただきます。</p> <p>先ほど傍聴の方からご要望がありましたので、ぜひこの会が終わった後、事務局のほうでお話を聞いていただければと思います。</p> <p>それでは長い時間、今日はどうもありがとうございました。</p>